

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前に比べ、1人当たりの売上金額は9%減少したが、1日当たり入場者数は44%増、同売上は31%増と大幅に上昇した。年始と月末にビッグレースが開催され、入場者の大幅増が売上の増加につながった。
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暖冬のため、12月に比べ冬物ファッション衣料の動きはやや鈍化傾向にあったが、春物衣料が活発に動き、これをカバーした。特に明るい色の商品が客の購買を持ち上げている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・雪の影響がなく、好調であった。特に2日、3日は好天にも恵まれ、過去最高の売上を記録した。9日から平日対策として、昼はケーキバイキング、夜は特別コースなどのチラシを折り込んだ結果、来客数は前年比115%で推移している。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・サーモンなど回転ずしの一部やプレミアムビールなどの単価を上げたにもかかわらず、暖冬で足場が良いこともあり、来客数は前年を若干上回り、売上も微増となっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新年会は暖冬の影響もあって、開催件数、来客数とも前年を上回った。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年は大雪による交通機関の乱れや風評被害で観光客が激減したが、今年は暖冬の影響で来場者数は前年の3、4割増となった。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・好天で展示場への来客数の動きも良い。加えて、分譲住宅の販売も前年に比べ好調に推移している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・初売りの来客数は前年に比べ激減した。昨年3月の大手百貨店の撤退が大きく影響している。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	単価の動き	・今年は暖冬で積雪がなく、客の動きは良いが、魚の単価が下がっている。
		一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	販売量の動き	・売上は前年とあまり変わらないが、最近では入・退室カードなどセキュリティー商品の販売拡大や引き合い増加が見られる。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・5時以降の来店が減少している。仕事帰りのビジネスマンやキャリア層の減少が特に目立つ。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・好天の影響で、初売りから婦人服は好調であった。福袋もクリアランスも順調であったが、重衣料のコート、ジャケット類がなかなか売れず、単品買いのカットソーやセーターなどに人気移っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・暖冬で客足は良いが、鍋物商材等の動きが悪いこともあり、客単価が上がらない。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・暖冬で足場が良いため、来客数は前年に比べ増加している。しかし、必要な物を必要な時に買うという客の態度は変わらず、買上点数の減少から客単価が低下気味である。
コンビニ（経営者）		単価の動き	・天候にも恵まれ、来客数は前年比104%、売上は同102%と順調であった。ただ、期待した行楽需要は主力のおにぎり、弁当、パンなどの中食が同96%と苦戦した。アルコールやたばこは正月需要で好調だった。総じて客の購買に力強さが感じられない。	
衣料品専門店（経営者）		販売量の動き	・雪が降らず、足元が良かったため、なんとか一定の販売量を維持できたが、例年の気候であれば厳しかった。	
家電量販店（経営者）		販売量の動き	・冷蔵庫が数量、金額共に前年を上回ってきたが、今まで好調であった洗濯機が数量、金額とも前年割れとなった。薄型テレビは引き続き好調である。	
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・暖冬により季節商材の売行きや積雪、凍結が原因の故障や事故もなく、全般的に動きが止まった。月の後半から客の姿も見られたが、実際の動きや成果は2月以降にずれ込む。		
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・自動車業界では経済性の良い小型車や軽自動車等の一部がもてはやされているが、全体としては停滞感が漂っている。また暖冬のため雪が無く、タイヤ販売や修理部門の売上にも影響している。		

	自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・客は以前と変わらず、必要な商品しか購入しない。客の年齢層は高齢者が目立つようになり、団塊世代の退職による変化が表れている。	
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・雪が無いので、売上は前年に比べ5、6%増加しているが、実質的な景気回復とはいえない。また、暖冬のため季節商材が売れない。	
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・週末などの予約集中日と閑散日の差が激しく、来客数は前年よりやや減少している。	
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・異常な暖冬であるが、雪のおそれもあるため、客は旅行を手控えている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・月の初めは年始回りや新年会などで、タクシーの利用が多かったが、それ以降は暖冬で雪が無く、暇であった。夜の街も正月にお金を使ったせいか、前年とは対照的に人出が少なかった。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の新しいサービスが始まったが、今は少し落ち着きを取り戻し、やや下向き傾向で推移している。	
	通信会社（役員）	お客様の様子	・ケーブルテレビ販売代理店の電器店では、年末から年始の売上や工事量が予想を下回っているとの声が多い。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・契約まで非常に時間が掛かる。客は税金や金利面から、住宅取得の時期としてはよいと認めているが、将来の展望に自信が持てないという感じである。	
	住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・見学会などで集客はあるものの、契約に至る過程は変わらない。客の判断は慎重である。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・暖冬ではあるが、人通りは依然少ない。観光地でも来客数の減少を嘆く声が多い。大雪の前年との比較では健闘している店も多いが、客が無駄なものを買い控える傾向が更に強まった感が否めない。	
	一般小売店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・売上構成比の高い雑誌と文具の売上が落ちてきている。全体としても前年同月、3か月前に比べ若干下降気味である。	
	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・商品を買うときの客の態度は単価の高低に関係なく、一つひとつの商品を時間を掛けて吟味している。	
	スーパー（店長）	お客様の様子	・前年に比べポイントサービスの特典を若干弱めたところ、来客数は変わらないが、客単価が低下し、売上が若干減少した。	
	スーパー（副店長）	単価の動き	・来客数は前年比97%、客単価は同100%であり、食品・青果物中心の相場安が食品全体の売上に悪影響を及ぼしている。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・正月は天気が良過ぎて、客が大型ショッピングセンターに流れたため販売量が減少した。また、雪が少ないため行楽に出掛けた人が多かったことも影響している。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・暖冬で足元が良いにもかかわらず、来客数が減少し、売上は前年の8割程度である。新年会も中止したところが多く、周辺の同業者やタクシー運転手も景況は非常に悪いと見ている。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内旅行の需要が減少傾向である。前年是大雪のため減少もやむを得なかったが、暖冬の今年になっても改善されない。航空座席の減少、重油の高騰などから、旅行単価が上がったことが原因かもしれない。	
	その他レジャー施設（職員）	販売量の動き	・飲食の販売量が減少し、売上がダウンしている。特にアルコールと酒のつまみ系が目立つ。	
悪くなっている	-	-	-	
企業動向関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・1月初めの業界の新年賀詞交歓会では、代表から「今年は注文は増えこそすれ、減少する要因は全く見られない」と断言する強気発言があった。出席者の大多数からも受注増に対処するという声ばかりで、熱気に当てられた感がする。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・システム販売業者や電話工事会社の様子から見て、全体的に繁忙の状況となっている。また、電話設備更改の需要も若干出てきている。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上、取扱量とも、前年に比べ増加傾向が続いている。	

	変わらない	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・原材料の値上げは少し落ちているが、受注量は微減である。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・眼鏡産地の状況は、少数の好調企業と多数の仕事量の少ない企業というように、昨年秋以降、一段と二極化が進行している。
		司法書士	取引先の様子	・新規融資の不動産抵当権設定がほとんど見られない。一方、多重債務の相談においては破産状態の相談者が減少している。
	やや悪くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新規の受注及び既存先からの受注量が減少している。
		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・例年2、3月は新製品の受注が落ち込むが、今年は1月からこの傾向が出始めている。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・原材料の値上げや職人不足で、外注費の上昇が避けられない反面、受注価格競争がし烈で、コストを価格に転嫁できず、一段と厳しい状況が続いている。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・暖冬の影響で、冬物衣料などの動きが悪く、前年同月の物量を確保できなかった。
		会計事務所（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・暖冬で雪のない正月を迎え、飲食関係は良かったようだが、冬物衣料や冬の生活用品、灯油、スキー場など、苦戦している中小事業者が多い。
	悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・昨年11、12月は、年末工期の工事を完成させるため、土曜日や祝日も出勤したが、今年は降雪が全く無いため少ない手持工事も早々と完了した。また、除雪作業は昨年末に一度出勤しただけで、今年は皆無である。この面でも作業員を常用雇用している建設会社にとって、例年以上に収支が悪化している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・「いざなぎ景気を越えたといわれるが、実感はない」という声を様々な業種・業態で耳にする。地方においては、好況といわれる大都市に比べかなりのタイムラグが生じるが、昨今ではその期待感よりも停滞感が広がっている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数は前年に比べ2けたの増加となっているが、全体に占める正社員の割合は4割弱にとどまり、雇用形態のミスマッチが続いている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は前年比で11.1%と大幅に増加している。暖冬により降雪がなかったことから、在職求職者や無業者の増加が続いているためとみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・内定者数は前年と変わらない。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は前年に比べ1割強減少した。
悪くなっている	-	-	-	